



2024.2.16



# 校長室から

## No 1 2

### Sakura Time ～総合的な探究の時間～

2月8日 1学年総合的な探究の時間の中間発表会が終了しました。ご参観いただきました保護者の皆様。ありがとうございました。今日は少し 探究 について紹介します。

#### 探究

探究が高等学校で、大きく世間から注目を浴びたのは、京都市立堀川高校の探究科ではないかと思います。2002年、探究科1期生卒業の年、国公立大学現役合格者数が前年の6名から106名に急増し「堀川の奇跡」としてマスコミにも取り上げられたのです。現在でも堀川高校は東京大学、京都大学に毎年30名の合格者を出す進学校です。大学合格実績が脚光を浴びたことから「『探究』を行えば大学に合格できるのか?」といった議論が巻き起こったこともあります。しかし、堀川高校に探究科を作った目的は、「単に勉強ができるだけでなく自分の頭で考えて行動できる人材をつくる。大学に入るための学校ではなく卒業後も光る生徒を育てる」でした。

#### 総合的な探究の時間

そもそも「総合的な探究の時間」の目的は何でしょうか。「総合的な探究の時間」は、平成30年の高等学校の学習指導要領で、以下のように定義されています。

「探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、**自己の在り方** **生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成すること**」課題の発見と解決を通じて、生涯にわたり自分の頭で考えて行動できる人材を作ることがこの時間の目的です。現在、日本の全ての高等学校で実施されています。

#### 日本の現状

日本財団が2022年1月26日(水)～2月8日(火)日本、アメリカ、イギリス、中国、韓国の6カ国の18歳、各1000人についてインターネットで行った18歳意識調査「第46回国や社会に対する意識(6カ国調査)」によると、「将来の夢を持っている、自分の将来が楽しみである」など自分の将来や目標についての質問で、日本は六カ国中すべて最下位の結果でした。自身と社会の関わりについても「自分は大人だと思う」「自分の行動で、国や社会を変えられると思う」がそれぞれ3割に満たず、他の国に差をつけて低いのです。

国際的な学力調査では、高い成績の日本の生徒達が、将来の夢がない、自分で国や社会を変えられると思えないということは、教育の大きな課題です。社会の担い手になり、自ら学んでいく生徒を育てるために、生き方を考え、自ら課題を見だし、問いをたて、探究していくことを目的に、「総合的な探究」が作られてきたのです。

18歳意識調査 | 日本財団 (nippon-foundation.or.jp)

[https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/eighteen\\_survey](https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/eighteen_survey)

(文責 齋藤 郁子)



2024.2.16

# 校長室から

## No 1 2



### 自身の将来や目標について

自身の将来や目標に関する質問で、全ての項目で日本は6か国中最下位となった。特に「多少のリスクが伴っても、新しいことに沢山挑戦したい」「多少のリスクが伴っても、高い目標を達成したい」は低く、5割を下回る。

Q 以下の項目に同意しますか。(各国n=1000)

※「はい」回答率を掲載

(単位: %)	将来の夢を持っている	自分の将来が楽しみである	社会が今後どのように変化するか楽しみである	多少のリスクが伴っても、新しいことに沢山挑戦したい	多少のリスクが伴っても、高い目標を達成したい	リスクのある挑戦よりも、経済的安定を重視する	リスクのある挑戦よりも、心理的安定を重視する
日本	59.6 6位	57.8 6位	54.0 6位	49.0 6位	44.9 6位	70.4 6位	68.3 6位
アメリカ	82.1	79.0	75.6	77.0	79.2	76.5	74.5
イギリス	78.3	75.7	71.1	78.1	81.4	72.6	71.7
中国	84.7	86.9	85.6	79.8	78.8	78.7 1位	78.1 1位
韓国	81.5	77.6	72.3	68.6	67.2	76.6	76.7
インド	93.3 1位	90.6 1位	88.5 1位	84.4 1位	87.6 1位	74.2	75.9

10

日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

### 自身と社会の関わりについて 1/2

自身と社会の関わりについて、以下の全ての項目で日本は6か国中最下位となった。特に「自分は大人だと思う」「自分の行動で、国や社会を変えられると思う」がそれぞれ3割に満たず、他の国に差をつけて低い。

Q 以下の項目に同意しますか。(各国n=1000)

※「はい」回答率を掲載

(単位: %)	自分は大人だと思う	自分は責任がある社会の一員だと思う	自分の行動で、国や社会を変えられると思う	国や社会に役立つことをしたいと思う	慈善活動のために寄付をしたい	ボランティア活動に参加したい
日本	27.3 6位	48.4 6位	26.9 6位	61.7 6位	36.2 6位	49.7 6位
アメリカ	85.7	77.1	58.5	73.0	66.7	70.4
イギリス	85.9 1位	79.9	50.6	71.2	69.5	64.2
中国	71.0	77.1	70.9	82.1	78.9	85.3 1位
韓国	46.7	65.7	61.5	75.2	62.4	70.7
インド	83.7	82.8 1位	78.9 1位	92.6 1位	83.7 1位	78.1

11

日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION